



創価大学

Discover your potential
自分力の発見



図書館報

2018 SUMMER No.42

SEASON



写真：アカデメイアの噴水

ISSN 1349-3760

2 スペシャルコラム マルコム = ダカティー先生

6 SBW 活動報告

3 図書館ニュース

8 図書館掲示板

4 中央図書館案内図 2階編

図書贈呈会を開催しました！

6月25日から29日に掛けて本学関係者を対象に、中央図書館で図書贈呈会を開催しました。

今回の贈呈会で用意した資料の数は約2万冊。初日から多くの来場者がつめかけ、掘り出し物の本がないか、並べられたブックトラックをチエックしていました。

来場者は5日間でのべ965人。贈呈冊数はじつに7485冊に上りました。みなさんご来場ありがとうございました。



『大学ランキング2019年版』（朝日新聞出版）の大学図書館ランキングにおいて、創価大学附属図書館が総合で第12位の評価を得ました！



『大学ランキング』に創価大学附属図書館がランクイン！



The Library: More Relevant than Ever

Malcolm Daugherty

Twice this semester, a student has challenged, “Why do we need a library? We have a computer and the Internet and can study anywhere.” In this digital age, students often believe that a library is old-fashioned and irrelevant to their studies. This attitude is shortsighted at best and detrimental at worst because a modern library is a sanctuary of learning. The Central Library and the satellite libraries on the Soka campus are constantly evolving to provide the best services and materials. Far superior to using a computer in your room for study and research, the library provides quality materials and services and an environment conducive to study.

Unlike the Internet, the materials and services provided by the Soka libraries are purposely chosen for students and researchers. Anyone who has pondered the millions of hits offered by an Internet search understands the dread of wading through that swamp to hopefully find that piece of necessary information. The library staff and professors, on the other hand, have specifically chosen quality materials and services to simplify the task of finding the most appropriate research, study, and even leisure materials. The materials in the library are also chosen for their permanence. The effort in time and money to write and publish a book or journal article contribute to the value of the materials collected in the library. Anyone can place anything on the Internet in a few minutes increasing the likelihood of less accuracy and possibly “fake” facts. The wealth of information found in the stacks and in the databases is reliable.

The library also the perfect locale for study. Yes, you can study in your room or dormitory, in SPACe, or in an empty classroom, but they do not have all the resources are at hand or may not be the most conducive to study. The library is filled with books, books for reading and research. A study by Mangen, Walgermo, and Brønneick (2013) found that students who read printed material had significantly higher comprehension and retention rates than those reading from a screen. The library also limits distractions with a quiet, comfortable space. Dormitories and homes are a hub of social activities, especially at the end of the day. They are filled with conversation, entertainment, and visits from friends and are often not the best location for serious study. Night is the time to unwind and relax. The library is open while students are at their mental peak, during the day. The Soka libraries are a vital resource for all diligent students. Visit the library and find a home base for your studies.

Profile:

Malcolm Daugherty is a language specialist in the Faculty of International Liberal Arts. He is interested in intercultural awareness, academic integrity, and environmental issues.

中央図書館 案内図 2階編

中央図書館には本や雑誌の他にも様々な資料や機能があります。
今回は知の宝庫、中央図書館を紹介する第2弾として、
中央図書館の2階をご案内します。



① 開架書架 (社会科学)

政治・経済・法律など、請求記号300番台の図書(社会科学分野)が並んでいます。

② ディスカバリー新書

請求記号が「DC」から始まる新書です。壁伝いに出版社ごとに並んでいます。

③ 新書

請求記号が「S」から始まる新書です。出版社ごとに並んでいます。

④ 児童書

絵本や児童向け小説などのコーナーです。

⑤ 閲覧机

⑥ SBW コーナー

Soka Book Wave(SBW) 推薦図書が並んでいるコーナーです。

⑦ 2階 PCルーム

学生が利用できるPCルームです。PCが13台。検索機が3台あります。

⑧ ブラウジングルーム

飲食可能な休憩エリアです。新着CDの視聴コーナーや、娯楽雑誌、自販機があります。また、ホワイトボードがあるのでグループ学習もできます。

⑨ グループ学習室 B

最大12名利用可能の学習室です。

⑩ 給水機

6月に新しくなりました。

⑪ SRP ルーム

全学読書運動を推進する「Soka Reading Project(SRP)」の活動拠点です。

SRP 活動報告

Soka Reading Project (SRP) は創立者の活字文化復興の想いを受けて、読書の推進活動を精力的に行っています。4月6月にSRP主催のイベントが中央図書館で行われました。

ビブリオバトル

4月25日は、SRPお馴染みのビブリオバトルが開催されました。ビブリオバトルは、参加者（バトラー）がそれぞれお気に入りの本を持ち寄り、制限時間内にその本の魅力を語ってもらいます。そして観客の投票によって、どのバトラーが紹介した本



を読みたいかを投票してチャンプ本を選ぶ、知的書評バトルです。今回のバトルにはSRPメンバーの中から選りすぐりのバトラー3人が、自身のお気に入りの本を紹介しました。教育学部の中村さんは『空想世界構築辞典』、文学部の日比野さん



は『ルリユール』、教育学部の作田さんは『聖なる怠け者の冒険』をそれぞれ紹介。投票の結果、チャンプ本には日比野さん推薦の『ルリユール』が選ばれました。

「ルリユール」とはフランス語で製本や装丁を意味する言葉です。本が好きな少女瑠璃と、造本士^{ルリユール}の女性、

そして造本土の工房へ訪れる依頼者たちによって不思議な物語が展開します。こちらの本は中央図書館でも所蔵しています。

ビブリオバトルは、バトラーのプレゼンが見ものですが、自分が知らなかった、興味の無かった本との出会いの場でもあります。本を読みたいけど何を讀もうか迷ってる方、いつもとは違う本を讀んでみたい方、何でも良いから本を讀みたい方、ぜひビブリオバトルを観戦してみてください。

グループブックトーク

5月11日はファシリテーターとして学士課程教育機構の佐藤広子准教授をお招きし、「グループブックトーク」を開催しました。

ブックトークはあるテーマを設定して何冊かの本を選び、様々なジャ

ンルの本をそのテーマにそって順序だてて紹介していきます。聞き手にその本の面白さを伝えることを目的としている点でビブリオバトルと似ています。

今回のグループブックトークでは、3人ほどでグループを作り、それぞれが読んでみたい本、読もうと思ってる本、何でも良いので図書館にある本を一冊を選んで持ち寄ります。そして、それぞれが持ち寄った本に共通する事柄を探し出してテーマを決め、そのテーマにそって本を紹介していきます。

参加者に取り組んでもらう前に、佐藤先生がブックトークを上演。『じぶんのしるし』をテーマに、ピーター・レイノルズ著・谷川俊太郎訳の『てん』、朝井リョウ著『何者。』、やなせたかし著『絶望の隣は希望です』の3冊を紹介していただきました。

佐藤先生のデモンストレーションの後、今回集まった参加者で4グループを作り、ブックトークを実際に行ってもらいました。初対面の方を相手にお

互いが選んだ本のつながりを見つけることに苦労しているようでしたが、4グループともすばらしいプレゼンでした。



フェを開催。「哲人ニーチェと共に」読むことと書くこと」を考えよう」と題して、ニーチェの本の一節をテーマに、読むことと書くことについて語り合いました。

SRPは、これからもみなさんの読書欲を駆り立てるような企画を開催していきます。図書館ホームページに情報を公開しますので、ぜひチェックしてご参加ください。

哲学カフェ

6月20日は文学部の伊藤貴雄教授がファシリテーターを務めた、哲学カ



中央図書館 開館日程

通常開館時間 8:30 ~ 21:00

休館	10:00 ~ 19:00
9:00 ~ 21:00	10:00 ~ 17:00

早朝開館 7:30 ~ 21:00

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

夏期長期貸出のお知らせ

今年も暑い季節がやってまいりました。もうすぐ夏期長期休暇が始まります。いつもより時間に余裕が持てるこの時期に、本をのんびりと読んでみませんか？

長期貸出期間と、対象者はそれぞれ以下の通りです。

2週間貸出者：学部生・短大生

7月17日（火）～9月3日（月）

4週間貸出者：教職員・大学院生・通教生

・創友会・市民利用

7月17日（火）～8月20日（月）

一斉返却日：9月18日（火）

